

# 4. 研究助成

## A. 第50回 三越医学研究助成 (総額500万円)

当事業団は生活習慣病その他重要な疾病の予防・撲滅に寄与する医学研究を発展させることを目的に東京都内ならびに東京都近隣の大学医学部、医学研究施設、病院等を対象に、生活習慣病とその治療を中心とした研究課題について広く公募し、助成対象者を選抜して助成金を交付している。2022年度の応募総数は16件で、そのなかより厳正な審査をへて受賞者3名を決定した。なお、受賞贈呈式および記念パーティは、新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。

### <募集・選考日程>

- 4月15日(金) 『募集研究課題設定委員会』を開催し研究課題決定  
公募を開始(募集締め切り7月29日)
- 8月19日(金) 審査員を決定し審査委員長を選任して『審査委員会』を設置
- 10月21日(金) 『助成選考委員会』を開催し助成対象者、助成金額を決定

### 1. 研究課題の決定

- 研究課題1 「心臓弁膜症の新展開(基礎、臨床、疫学など)」
- 研究課題2 「高齢化社会における慢性腎臓病の治療」
- 研究課題3 「動脈硬化性疾患予防治療目標としての適切な炎症マーカーについて」

### 2. 審査委員会による研究課題審査

#### <審査委員>

- 審査委員長 水野 杏一(公益財団法人 三越厚生事業団 常務理事)
- 審査委員 佐藤 敦久(国際医療福祉大学医学部 教授 国際医療福祉大学三田病院 副院長)
- 佐藤 直樹(医療法人社団康幸会 かわぐち心臓呼吸器病院 副院長)
- 山縣 邦弘(筑波大学医学医療系臨床医学域腎臓内科学 教授 筑波大学附属病院 腎臓内科長)
- 中村 治雄(公益財団法人 三越厚生事業団 顧問)
- 山下 毅(公益財団法人 三越厚生事業団 理事・三越診療所 所長)

#### <審査・選考>

研究課題テーマごとに専門分野の審査員を選任し評価を行った。外部審査員と事業団審査員を審査員とし、透明性のある審査を実施した。評価にあたっては総合点により上位者を助成対象者とした。

### 3. 助成選考委員会

審査委員会による審査結果を受けて「助成選考委員会」を開催し、助成対象者および助成金額を決定した。

## 第50回 三越医学研究助成受賞者

氏名	所属機関	研究課題
<b>研究課題①心臓弁膜症の新展開(基礎、臨床、疫学など)</b>		
宮城 泰雄	日本医科大学付属病院 心臓血管外科 講師	心臓超音波画像におけるオプティカルフロー解析の応用—僧帽弁および周辺組織の微細運動解析と新しい治療方法の開発
<b>研究課題②高齢化社会における慢性腎臓病の治療</b>		
田中 真司	東京大学医学部附属病院 腎臓・内分泌内科 助教	神経腎臓連関に基づいた慢性腎臓病新規治療法の開発
<b>研究課題③動脈硬化性疾患予防治療目標としての適切な炎症マーカーについて</b>		
磯尾 直之	帝京大学医学部附属溝口病院第四内科 講師	動脈硬化サロゲートマーカーとしてのCD36+CD41+エクソソームの有用性

## B. 第23回 三越海外留学渡航費助成 (総額300万円)

当事業団では海外での医学研究や医療技術習得を志す若手医学者ならびに海外渡航中で留学先受け入れ研究機関の研究指導者の推薦がある者に対し、留学費用の一部として渡航費の助成を行っている。2022年度も東京都ならびに東京都近隣の大学医学部、医学研究施設、病院等を対象に4月より公募を開始し、6月末の締め切りまでに17名の応募があり、「選考委員会」による厳正な審査の結果、以下の3名の助成対象者を決定し、8月15日に助成金を交付した。

## 第23回 三越海外留学渡航費助成受賞者

氏名	所属機関	留学先	研究課題
大久保 真理子	国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 疾病研究第一部 研究生	筋疾患研究所	ラミノパチーに対する遺伝子治療法の開発
樺 俊介	東京慈恵会医科大学 内視鏡医学講座	メイヨークリニック	Mesna を用いた漿膜下トンネル法の確立
三戸 麻子	国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター 母性内科 医長	スタンフォード大 学医学部内科	日本と米国における日本人女性の周産期 転帰比較研究 -米国式のライフスタイルが、胎児期または 出生後から日本人の周産期転帰に及ぼす 影響の検討-

## 医学研究助成および海外留学渡航費助成年度別交付状況

(金額単位：万円)

年度	種別	三越医学研究助成			三越海外留学渡航費助成		
		回数	件数	金額	回数	件数	金額
昭和48年度	第1回	15	1,000				
昭和49年度	第2回	9	500				
昭和50年度	第3回	10	600				
昭和51年度	第4回	9	600				
昭和52年度	第5回	7	1,000				
昭和53年度	第6回	8	1,000				
昭和54年度	第7回	4	1,000				
昭和55年度	第8回	5	1,000				
昭和56年度	第9回	7	1,000				
昭和57年度	第10回	6	700				
昭和58年度	第11回	3	410				
昭和59年度	第12回	4	500				
昭和60年度	第13回	3	500				
昭和61年度	第14回	3	500				
昭和62年度	第15回	5	600				
昭和63年度	第16回	8	1,000				
平成元年度	第17回	7	1,000				
平成2年度	第18回	8	1,000				
平成3年度	第19回	8	1,000				
平成4年度	第20回	7	1,000				
平成5年度	第21回	6	1,000				
平成6年度	第22回	8	1,000				
平成7年度	第23回	9	1,000				
平成8年度	第24回	8	1,000				
平成9年度	第25回	9	1,000				
平成10年度	第26回	6	1,000				
平成11年度	第27回	7	1,000				
平成12年度	第28回	6	1,000	第1回	5	250	
平成13年度	第29回	7	1,000	第2回	3	150	
平成14年度	第30回	8	1,000	第3回	1	50	
平成15年度	第31回	7	1,500	第4回	3	150	
平成16年度	第32回	9	1,500	第5回	2	100	
平成17年度	第33回	8	1,460	第6回	2	100	
平成18年度	第34回	7	1,500	第7回	2	100	
平成19年度	第35回	5	1,250	第8回	1	50	
平成20年度	第36回	9	2,050	第9回	0	0	
平成21年度	第37回	4	900	第10回	2	200	
平成22年度	第38回	5	1,050	第11回	5	300	
平成23年度	第39回	3	840	第12回	3	180	
平成24年度	第40回	2	429	第13回	5	250	
平成25年度	第41回	3	550	第14回	4	200	
平成26年度	第42回	3	459	第15回	6	300	
平成27年度	第43回	3	550	第16回	5	250	
平成28年度	第44回	3	570	第17回	6	300	
平成29年度	第45回	4	690	第18回	6	600	
平成30年度	第46回	3	600	第19回	2	160	
令和元年度	第47回	3	500	第20回	3	300	
令和2年度	第48回	2	350	第21回	2	200	
令和3年度	第49回	3	400	第22回	3	300	
令和4年度	第50回	3	500	第23回	3	300	
合計		299	43,558		74	4,790	